

# 月刊 丸森とザンビア



第32号  
〈発行/お問合せ〉  
丸森町企画財政課  
TEL 0224-72-3024  
耕野振興会  
耕野まちづくりセンター  
TEL 0224-75-2134

## プロジェクトの修了式が現地で行われました

1月21日から31日まで、平成28年度より続いた今回のプロジェクトの終了時調査と、修了式が行われました。丸森からは、石塚プロジェクトマネージャーと、玉川国内調整員が参加しました。

調査で訪問した各村では、多様な農業生産物を見せていただいたり、農業や生活で使う水の確保の難しさや、作物の虫食い被害など、課題についても説明を受け、プロジェクトに関わった普及員や農家さんのひたむきを改めて実感しました。

昨年12月に丸森に来たルサカ州農業事務所長官からは、「丸森の農家さんもこのような挑戦を経て今がある。ザンビアと丸森、今後もお互い頑張って発展させていきたいと思います。」というメッセージをいただきました。



修了式での発表の様子



多様な生産物を作っていました



生産量を向上させた農家さん

## 「ザンビアで活かされている丸森の技術」

本プロジェクトを通じてザンビアにわたった丸森の農業技術が、いろいろな場面で活かされています。



養蜂で使う巣箱です。



マンゴージャムです。



手作りの食品乾燥ネットです。



キノコ栽培、ネズミと乾燥の対策がされています。



ドラム缶の炭焼き窯です。現在、改良が進められています。



じゃがいもの栽培です。新芽が順調に育っています。

裏面へ続きます

## ～ジャイカ当事業の担当者より～ 現地の方々からお話を聞いてきました

この度、1/20～1/26まで石塚プロジェクトマネージャーと玉川調整員とともにザンビアで現地調査をしてきました。本事業は今年3月で終了を迎えますが、今回は3年間の事業の成果として、丸森の技術がザンビアでどのように活用されているのかを確認することが目的です。

今回はルサカ州農業事務所、チランガ郡およびカフエ郡農業事務所職員や農家の方々にお会いし、お話を伺ってきました。お話の中では、「多種多様な野菜栽培や加工保存の技術、商品に付加価値を付ける考え方を丸森町の皆さんから学びました。おかげで家庭での食事メニューも改善され、収入も増えました。」「丸森町の方々が国を超えて支援してくれていることは、農業事務所職員や農家のやる気にも繋がっています。大変感謝しています」とコメントがありました。

また、訪問した村では農家の方々が育てた野菜や加工品を見せてもらい、どれも丸森町の農家の方々が教えてくださった技術が活用されており、丸森町の技術がザンビアの農家の生活改善に繋がっていることが確認できました。このことから、本事業はザンビアの農家の方々にとっても良い効果をもたらしたと言えると思います。

本事業は間もなく終了となりますが、丸森町の皆様には研修受入時や現地での技術指導、ホームステイ受入れなど、本事業へのご理解とご協力を頂きJICAとしても大変感謝しております。この場をお借りして御礼申し上げます。事業は終了となりますが、丸森町とザンビアの繋がりがこれからも続くことを期待しております。



森さんが現地で実施したグループディスカッションの様子です。  
プロジェクトに参加した農家さんから、様々なご意見・ご感想をいただきました。

(記事提供: JICA東北センター ザンビア・丸森プロジェクト担当 森 英恵さん)